

第57回国民体育大会では、東京都選手団の活躍が光りました。

東京都は39年ぶりに男女総合第一位の「天皇杯」を獲得しました。

昨年行われた第57回国民体育大会は、1月に北海道帯広市で行われた冬季大会のスケート・アイスホッケー競技会を皮切りに、2月には新潟県妙高高原町でスキー競技会が行われ、9月・10月には高知県内で夏季大会、秋季大会が開催されました。

国民体育大会は、都道府県対抗方式によって行われ、総合成績は、冬季・夏季・秋季大会の総合得点によって決定されます。東京都は、冬季大会の活躍に加えて、夏季大会で水泳競技が前人未達の28連勝という偉業を達成したほか、秋季大会では、



柔道競技とバドミ

ントン競技の男女総合第一位の活躍を筆頭に、各競技の選手、監督をはじめとする関係者の健闘により、「よさこい高知国体」の愛称で開催された秋季大会において、みごとに男女総合第一位の「天皇杯」と女子総合第一位の「皇后杯」を獲得することができました。

東京都の天皇杯獲得は、昭和38年に山口県で開催された第18回大会以来、39年ぶり12回目の受賞となり、皇后杯は、昭和52年の青森大会以来、25年ぶり17回目の受賞となりました。

大会結果

	天 皇 杯		皇 后 杯		競 技 数
総合得点	2109.5	1位	959.0	1位	40競技

(季別内訳)

大会季別	天皇杯得点	順位	皇后杯得点	順位	種 目 名	開 催 地
冬季大会	204.0	5位	85.0	6位	スケート、アイスホッケー、スキー(3競技)	北海道帯広市 新潟県妙高高原町
夏季大会	740.5	1位	386.5	1位	水泳、サッカー、テニス、ボート、セーリングなど(10競技)	高知県高知市 ほか
秋季大会	1165.0	2位	487.5	4位	陸上、ホッケー、ボクシング、バレーボールなど(27競技)	高知県高知市 ほか



東京都で、54年ぶりに国民体育大会が開催されます。

国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及することなどを目的に、毎年、都道府県を持ち回りで開催されています。第1回大会は、昭和21年に京都府を中心とした京阪神地区で開催されました。また、東京都では、これまで、昭和24年の第4回大会、昭和34年の第14回大会を開催しました。

平成14年1月には、第3回目となる平成25年・第68回大会の開催(開催順序提出県了解・内々定)が財団法人日本体育協会から発表され、今年度は、教育庁に検討委員会を設置

し、今後の大会の準備に向けた検討を行っています。

東京都での国体開催は、都民のスポーツ活動を一層活発にするとともに、都全体の活性化に寄与するものと期待されています。

今回の天皇杯、皇后杯獲得は、東京都のスポーツ史に刻まれた栄光であり、国体開催に向けた、輝ける一里塚になりました。